

令和5年度診療科別目標発表

消化器内科

医師の紹介

消化器内科



No	氏名	役職等
1	丸山 保彦	副院長（地域医療連携・働き方改革担当）、内視鏡センター長、医療支援センター所長、
2	吉井 重人	第1診療部長、がんゲノム医療センター所長、消化器内科科部長、臨床研究センター所長
3	景岡 正信	光学診療科部長、科長兼務、消化器内科科長
4	大畠 昭彦	科長
5	寺井 智宏	科長
6	星野 弘典	医長
7	稲垣 圭佑	医員
8	乾 航	医員
9	馬場 皓大	医員
10	丸山 巧	医員

医師の紹介

消化器内科



No	氏名	専門領域
1	丸山 保彦	消化管
2	吉井 重人	消化管
3	景岡 正信	胆膵
4	大畠 昭彦	胆膵
5	寺井 智宏	炎症性腸疾患
6	星野 弘典	
7	稲垣 圭佑	
8	乾 航	
9	馬場 皓大	
10	丸山 巧	

医療機関別実績

読売新聞 「病院の実力 ～静岡編」掲載

内視鏡治療件数

- ・ 胃がん 県内 第 4 位 (2021年度 実績) ※ 1
- ・ 食道がん 県内 第 5 位 (2020年度 実績) ※ 2

※1 2022.9.28 読売新聞 朝刊

※2 2021.5.23 読売新聞 朝刊

化学放射線療法件数

- ・ 膵臓がん 県内 第 8 位 (2020年度 実績) ※ 3

※3 2021.12.19 読売新聞 朝刊

診療実績等



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

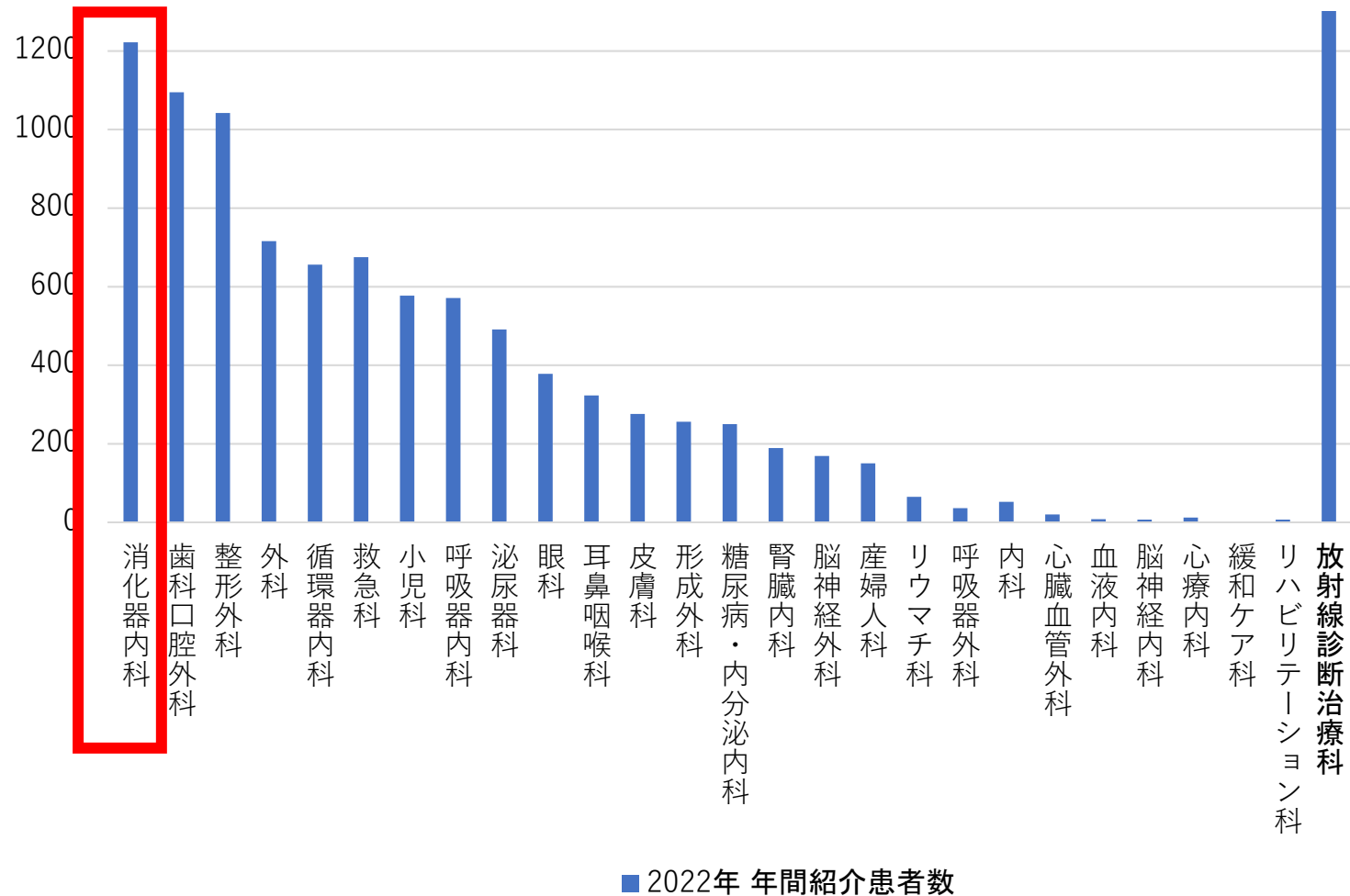
消化器内科

主な診療実績	R3	R4
外来患者数	132.9人/日	133.9人/日
入院患者数	60.0人/日	56.7人/日
新入院患者数	148.8件/月	149.8件/月

DPC病名別 症例数	R3	R4
胆管(肝内外)結石、胆管炎	200人/年	202人/年
胃の悪性腫瘍	136人/年	120人/年
穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患	131人/年	124人/年
膵臓、脾臓の腫瘍	116人/年	95人/年
食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患)	97人/年	29人/年

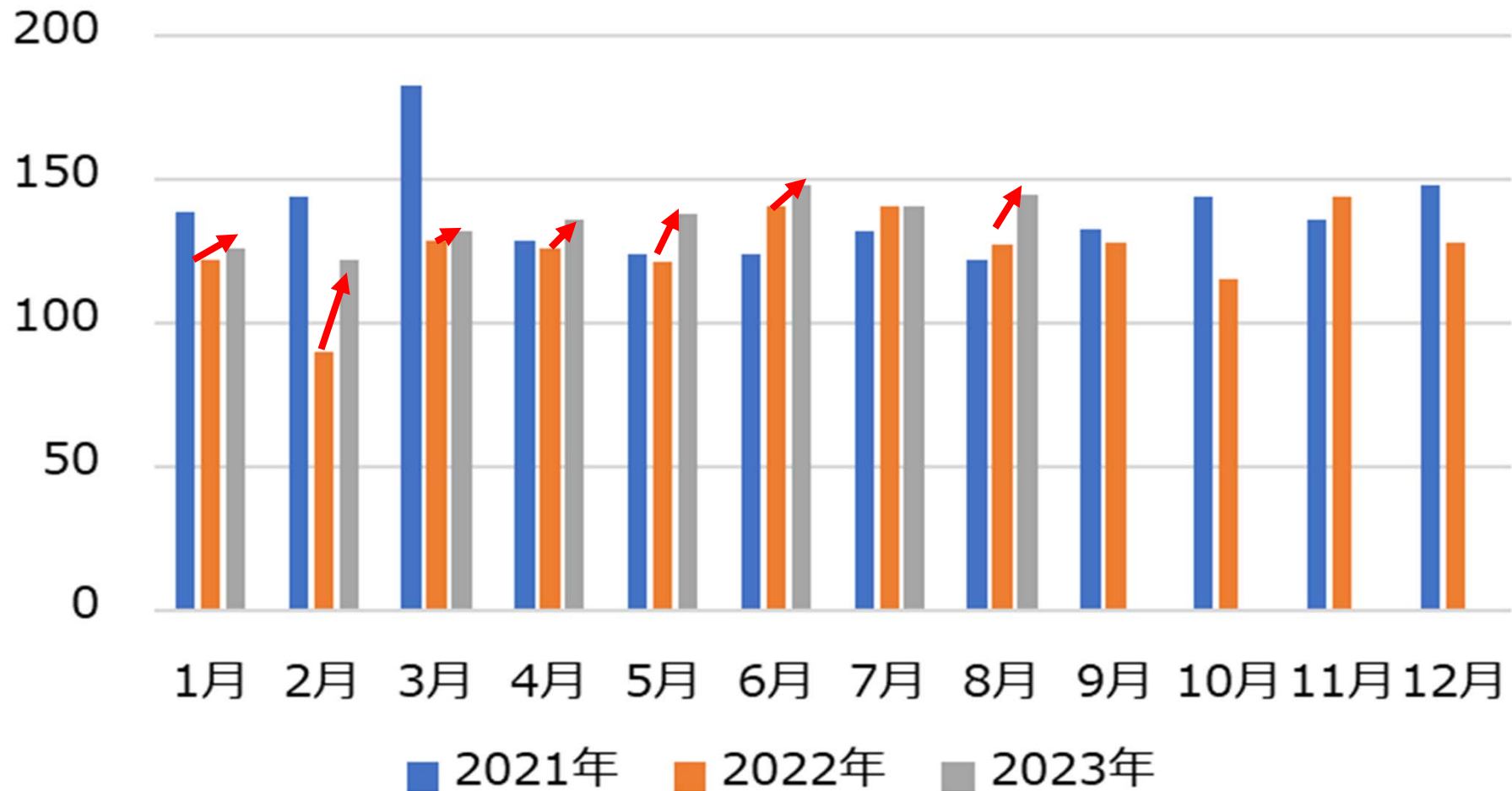
※girasol抽出データ(MDC6分類)による

2022年度 全科・外来紹介患者数

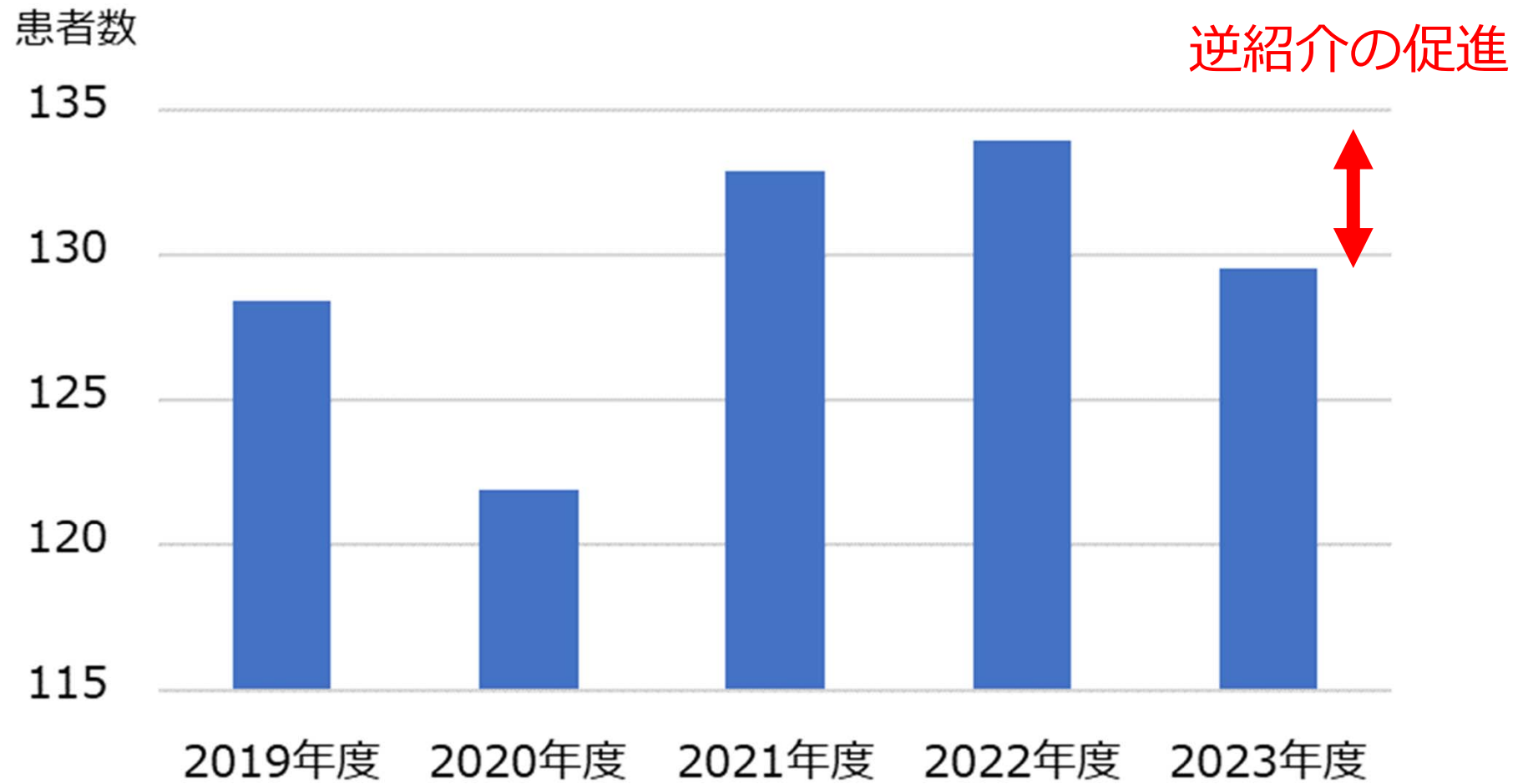


消化器内科 紹介患者数

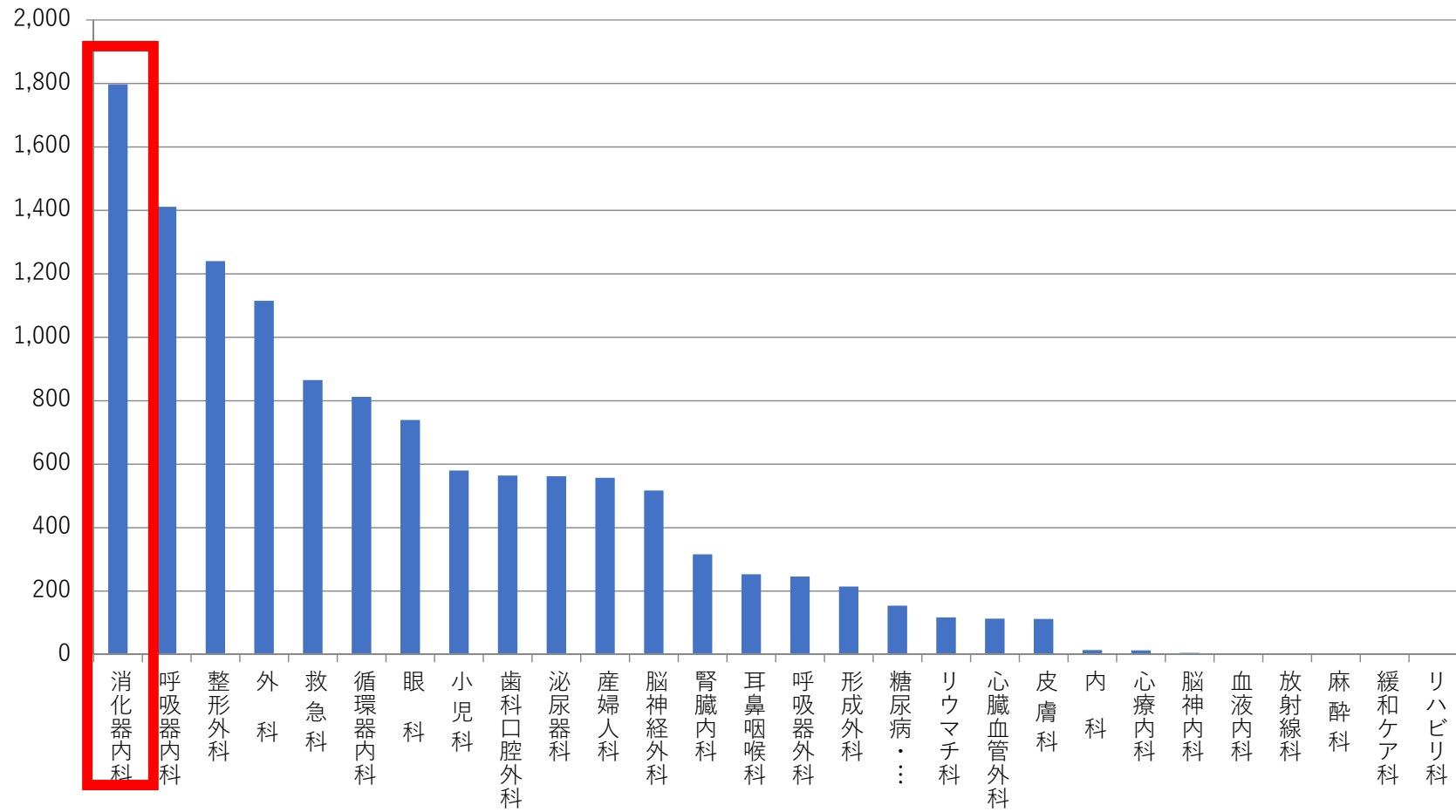
- ・ 救急・緊急紹介患者の積極的受け入れ.
- ・ 紹介患者の予約日の迅速な決定.
- ・ 紹介患者の丁寧な報告書.



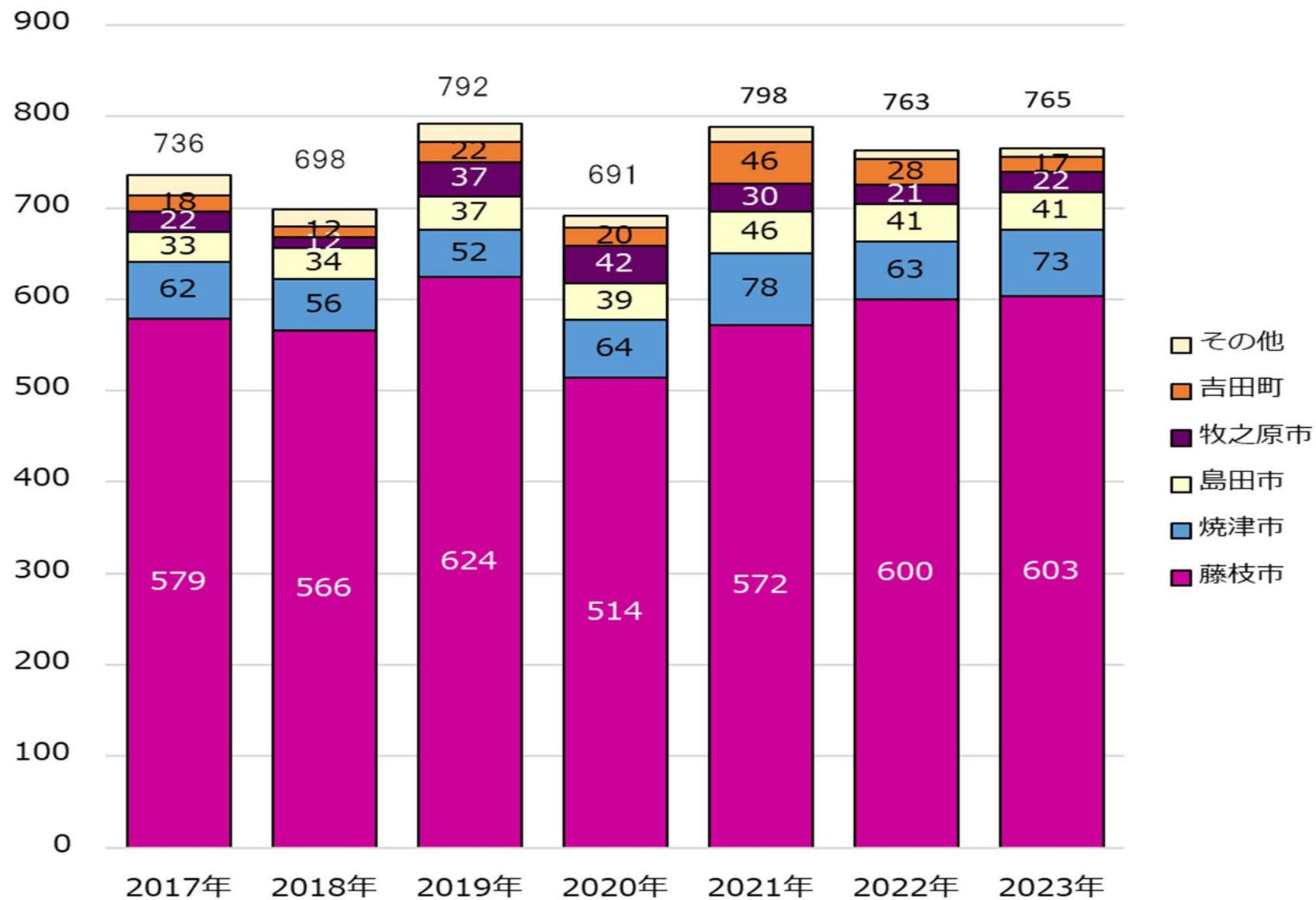
消化器内科 外来1日平均患者数



2022年度 全科・新入院患者数

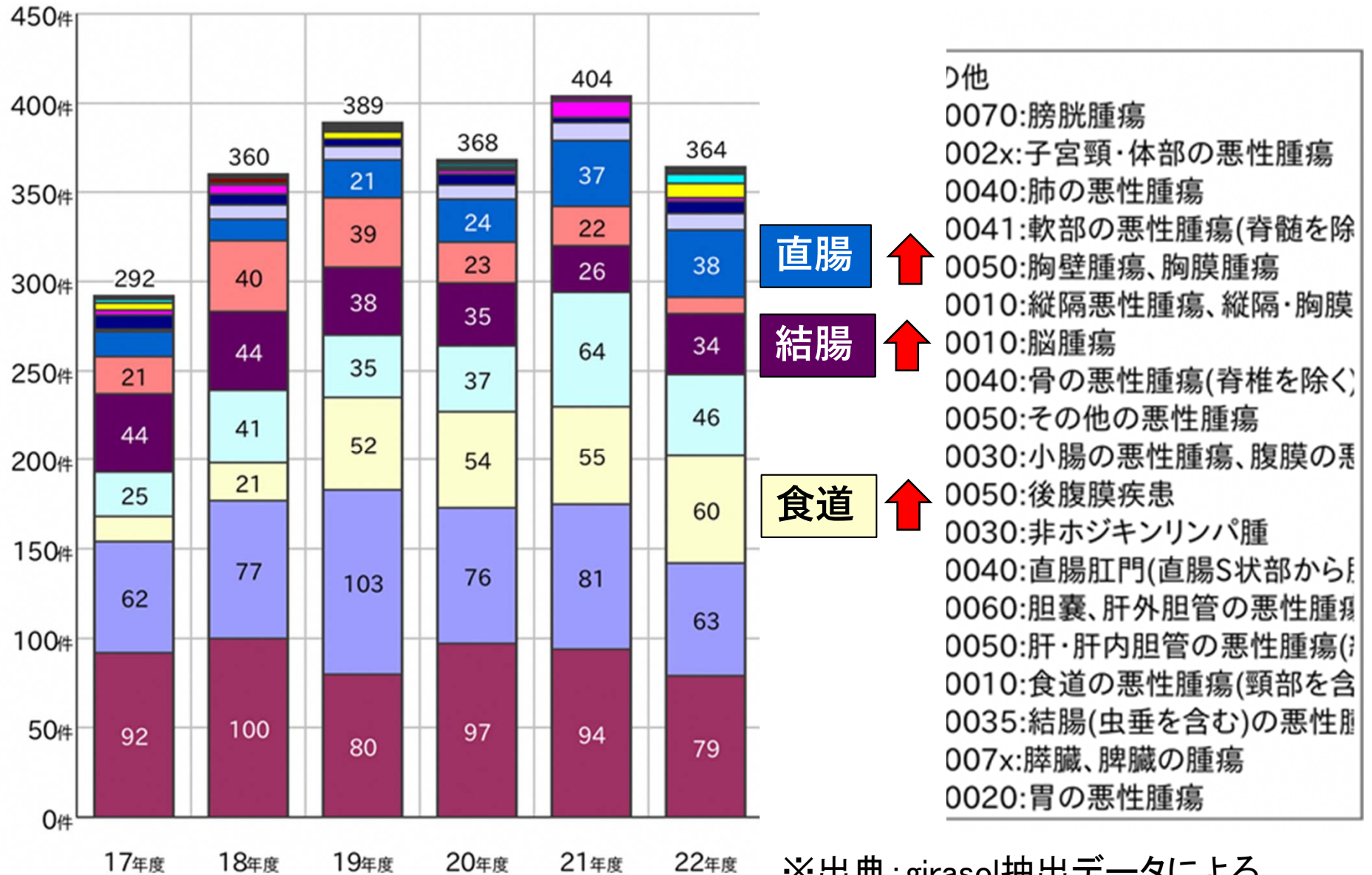


消化器内科 入院件数 4～8月 全件



※出典: girasol抽出データによる

消化器内科 入院件数 悪性腫瘍 住所地が藤枝市のみ

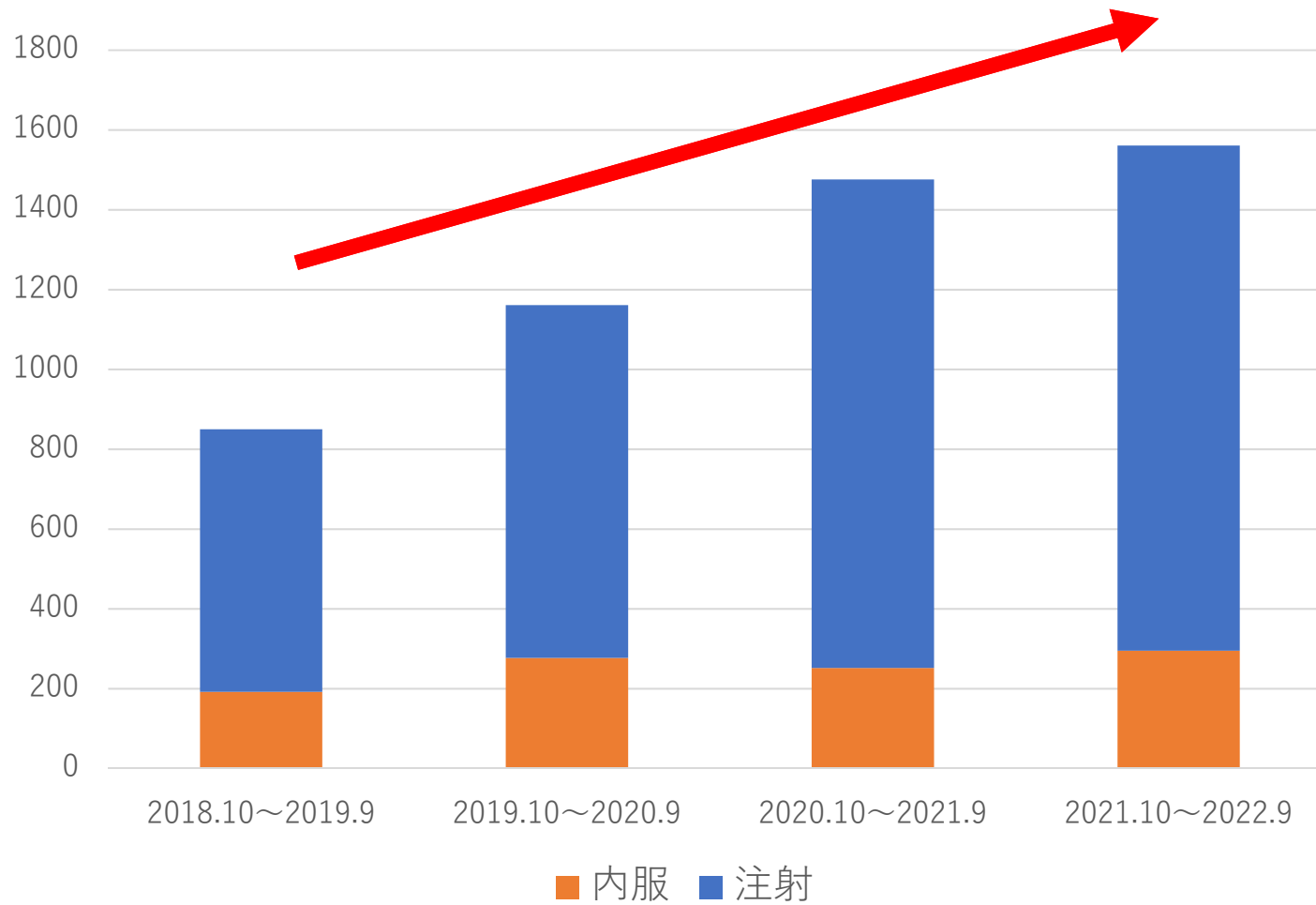


- その他
- 0070:膀胱腫瘍
- 002x:子宮頸・体部の悪性腫瘍
- 0040:肺の悪性腫瘍
- 0041:軟部の悪性腫瘍(脊髄を除く)
- 0050:胸壁腫瘍、胸膜腫瘍
- 0010:縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜
- 0010:脳腫瘍
- 0040:骨の悪性腫瘍(脊椎を除く)
- 0050:その他の悪性腫瘍
- 0030:小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍
- 0050:後腹膜疾患
- 0030:非ホジキンリンパ腫
- 0040:直腸肛門(直腸S状部から肛門まで)
- 0060:胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍
- 0050:肝・肝内胆管の悪性腫瘍(胆管癌)
- 0010:食道の悪性腫瘍(頸部を含む)
- 0035:結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍
- 007x:膵臓、脾臓の腫瘍
- 0020:胃の悪性腫瘍

※出典: girasol抽出データによる

消化器内科 抗がん剤治療患者数

患者数



令和4年度の診療実績



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

消化器内科

1. 高度ながん医療の提供

- ① 胃がん・食道がんの内視鏡的治療を数多く施行。
- ② 膵臓がんの化学療法・化学放射線化学療法を数多く施行。
- ③ 遺伝子検査(MSI, RAS, BRAF, HER2, BRCAなどの遺伝子)を施行して抗がん剤を選択。 ➡ **がんゲノムエキスパートパネルへの定期的参加**
- ④ 大腸がんの「内視鏡的粘膜下層剥離術」の治療箇所を直腸のみから大腸全域に拡大(治療難易度が高い箇所にも拡大)。

令和4年度の診療実績



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

消化器内科

2. 地域医療連携の推進

①病診連携の推進（紹介・逆紹介の推進）

- ・多くの紹介患者数。
- ・外来患者数が非常に多い。（問題点）
 - ➡外来患者数を削減して専門性の高い診療（内視鏡精密検査や治療など）への時間・人材資源を確保。（逆紹介の推進）
- ・入院患者の急性期治療が終了した後は速やかに後方支援病院や介護施設への転院を推進する。



◆国が推進する「医療・介護の機能分化と連携」の推進。

問題点

高度な医療を提供できる体制を有しているが、需要（患者数）に対して診療可能な供給体制（特にスタッフ数）が限界に近づいている。


令和4年度の診療実績



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

消化器内科

3. 持続可能な診療体制の構築・経営基盤の強化

- ① 働き方改革の実践  朝カンファ参加を任意参加に
週末当番制の導入・徹底
- ② 内視鏡検査/治療、がん診療/薬物療法など
地域医療を守りつつ
収益性の高い診療に重点
- ③ 内視鏡センターの拡充（予定）に向けての体制づくり
- ④ DPC I+II 期間中の退院を推進
- ⑤ 若手消化器内科医の確保

持続可能な診療態勢

消化器内科

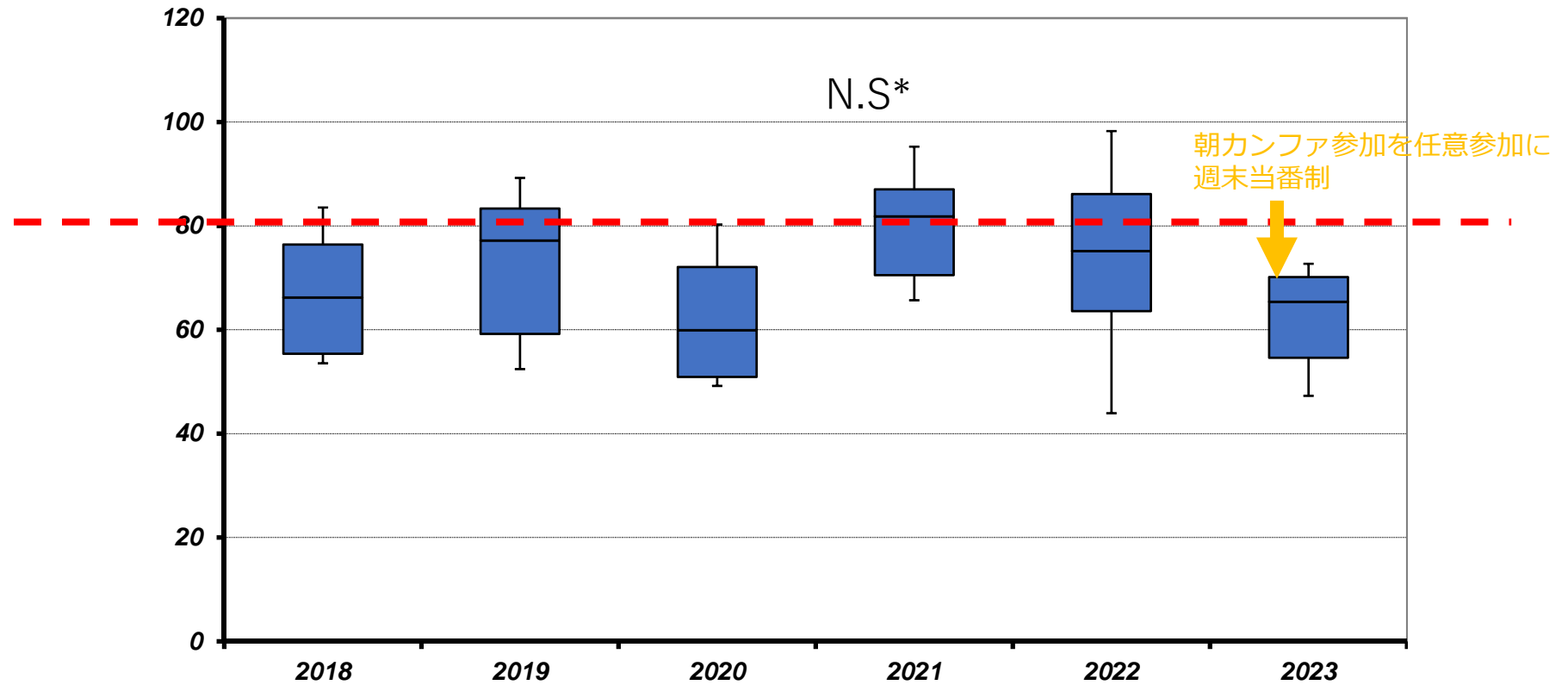
- ✓ 若い医師の確保
- ✓ 業務分担の適正化*
- ✓ 勤務環境の改善

(*科内では限界あり、できれば病院全体で・・・)



No	氏名	専門領域	
1	丸山 保彦	消化管	
2	吉井 重人		
3	景岡 正信	胆膵	Over 50 y.o
4	大畠 昭彦		
5	寺井 智宏	炎症性腸疾患	40s y.o
6	星野 弘典		
7	稲垣 圭佑		
8	乾 航		Under 35 y.o
9	馬場 皓大		
10	丸山 巧		

消化器内科・時間外労働（月平均）



*Kruskal Wallis H-test (Non-repeated Measures ANOVA)

中期目標・令和7年度に目指す姿

消化器内科



持続可能な診療体制の構築・内視鏡診断/治療の推進

- ・ 志太医師会の先生方とのさらなる連携強化。
- ・ 外来患者数削減（逆紹介）と（紹介・救急）患者受け入れ体制の強化。
- ・ 内視鏡センターの拡充（内視鏡診療体制の改善・強化）。
- ・ がん患者の高度診療体制の強化（内視鏡診断/治療、化学療法、緩和医療）。
- ・ 時間外労働の削減。

決 意

持続可能な高度診療体制の維持・強化

- ・ 医療連携（逆紹介/紹介）の推進.
- ・ 医療資源(人材含)の効率的有効活用.
- ・ 内視鏡診療体制の改善・強化.
- ・ 高度がん診療体制強化.
- ・ 若手消化器内科医の確保.